





 **Safari pilot³**

タンデムパイロット/スプリットレッグ

Gin Gliders は発行時に正確な情報を提供するためにあらゆる努力を払っていますが、製品の仕様は予告なしに変更される場合があります、表示されているものと異なる場合があります。

目次

Safari pilot 3

ありがとう	4	メンテナンスと修理	25
警告	5	最後に	28
Safari pilot 3の紹介	6	ハーネス図	32
仕様	7		
Safari pilot 3の構成部品	8		
フライトの前に	10		
バックプロテクターの装着	11		
バックプロテクターのメンテナンス	12		
レスキューの装着	14		
レスキューハンドルの装着	15		
レスキューブライダルの装着	16		
ストレージ	20		
調整	21		
Safari pilot 3でフライトする	22		

ありがとう

ジングライダーズを選んでいただき、
ありがとうございます。
新しいジンハーネスで、
多くの価値ある体験を
お楽しみいただけると確信しています。

このマニュアルには、安全性、性能、メンテナンスに関する重要な情報が含まれています。初めてのフライトの前に読んで、参考文献として保管し、ハーネスをリセールする場合は新しいオーナーに渡してください。

このマニュアルの更新または関連する安全情報は、当社のWebサイト(www.cisco.com)に公開されます：www.gingliders.com。当社のWebサイトから更新情報の電子メール登録を行うこともできます。

ハッピーフライトとセーフティランディングを！

GIN Team



GIN

！ 警告

他のエクストリームスポーツと同様、パラグライダーには怪我や死につながる予測不可能なリスクが伴います。フライトを選択することで、これらのリスクに対する全責任を負うことになります。適切な姿勢、トレーニング、経験を持ち、道具を正しく理解し、使用し、メンテナンスすることで、リスクを最小限に抑えることができます。常に知識を深め、自立心を養うように努めてください。わからないことがあれば、まずはお近くの販売店、またはジンの輸入代理店、もしくはジングライダーズに直接ご相談ください。

パラグライダー中に起こりうるすべての状況や状態を予測することは不可能であるため、本マニュアルはすべての状況下におけるパラグライダー用品の安全な使用について表明するものではありません。ジングライダーズおよびジン機材の販売者は、あなた自身や他の人の安全について保証したり、責任を負うことはできません。

多くの国ではパラグライダー活動に関する特別な規制や法律があります。パラグライダーを行う地域の規制を知り、遵守することはあなたの責任です。

使用目的: パラグライダーで使用される、最大積載重量120kg未満の軽量エアスポーツエクイップメント

Safari pilot 3 の紹介

Safari pilot 3は、プロタンデムパイロットの使用に最高レベルの快適さと使いやすさを提供するように設計されています。

これは、コンパクトで軽量、耐久性があり、飛行中も非常に快適なスプリットレッグハーネスで、安全機能が満載です。

操縦効率、バランス、パイロット/パッセンジャーユニットの安定性の観点から、最適なパイロットポジションを見つけるために多大な努力を払いました。「前傾」ポジションでは優れたコントロール性と視界を提供しながら、その状態でも優れたサポートを提供します。

ハーネスは背中全体を最高レベルでサポートし、圧迫点はありません。その結果、終日着用しても背中が痛くなりません。調整は慎重に考え抜かれ、ハーネスの快適さと安定性を保つために意図的に制限されています。

Safari pilot 3は、フル機能の作業ツールであるにもかかわらず、デザインと素材の選択により、コンパクトでパッキングが簡単です。Safari passenger 3と組み合わせると特に便利です。



仕様

サイズ	ONE SIZE
パイロット身長 (cm)	170 - 190
レスキューコンテナ容量 (L)	11.0
カラビナの距離 (cm)	44
シート幅 (cm)	55
シート長 (cm)	40
バックポケット容量 (L)	18
プロテクターポケット容量 (L)	24
レスキューブライダル長 (mm)	1790 * 2

* レスキューハンドルとレスキューブライダルが付属します

認証

Safari pilot 3は ENとLTFの認証を受けています。

最大積載重量120 daN

証番号:PH 444.2024 | CE認証

デリバリーパッケージ

- 1 ハーネス
- 1 レスキューハンドル
- 2 レスキューブライダル
- 2 GIN 30mm カラビナ
- 1 ゴープロポケット

バックプロテクション

アエロビーンプロテクター
22cm バックプロテクション
CE / EN 認証

ハーネス構成部品の重量

構成部品	ワンサイズ
レスキューハンドル(kg)	0.04
ゴープロポケット(kg)	0.100
アエロビーンプロテクター(kg)	0.300 - 0.350
30mm カラビナー 2個 (kg)	0.065
ハーネス重量(kg)	2.8

Safari pilot 3

の構成部品

1 バックプロテクション

Safari pilot 3には アエロビーンプロテクターが付属しています。衝撃を受けた後は必ずプロテクターを点検し、損傷がないか確認する必要があります。プロテクターは事故発生時にパイロットを可能な限り保護しますが、怪我のリスクを完全に排除することはできません。Safari pilot 3のバックプロテクターは EN および CE 認定を受けています。

2 GIN カラビナ

ハーネスには、GIN30mm カラビナが1組付属しています。Safari pilot 3は、メイン接続部（スプレッダーバーまたは柔軟なスプレッダー）にクイックリリースカラビナを装着できます。オートマチックアルミニウムカラビナは、金属疲労のため寿命が限られています。5年または500飛行時間のいずれか早い方で交換する必要があります。スプレッダーとタンデム機のライザーの間で、メインカラビナとして使用しないでください。また、ブライダルをリザーブに接続するために使用しないでください。

3 ゴープロポケット

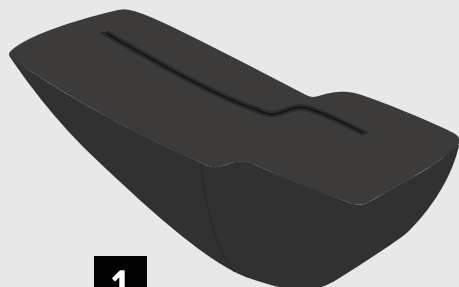
Safari pilot 3ハーネスには、カスタム設計のゴープロポケットが付属しており、ランディング、テイクオフ、その他のフライト状況であらゆるアクションカメラを収納できるように設計されています。

ゴープロポケットは、パイロットがアクションカメラに簡単にアクセスできるように設計されています。簡単に取り外し可能で、左側または右側のどちらにも取り付けることができます。

4 レスキューブライダル (2)

ハーネスには 1790mmのレスキューブライダルが1組付属しています。

それらをカバーするレスキューブライダルジップトンネルもありますので、16ページの指示に従ってレスキューライザーに取り付けてください。



1



2



3



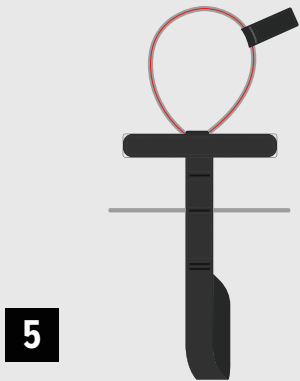
4

Safari pilot 3

の構成部品

5 レスキューハンドル

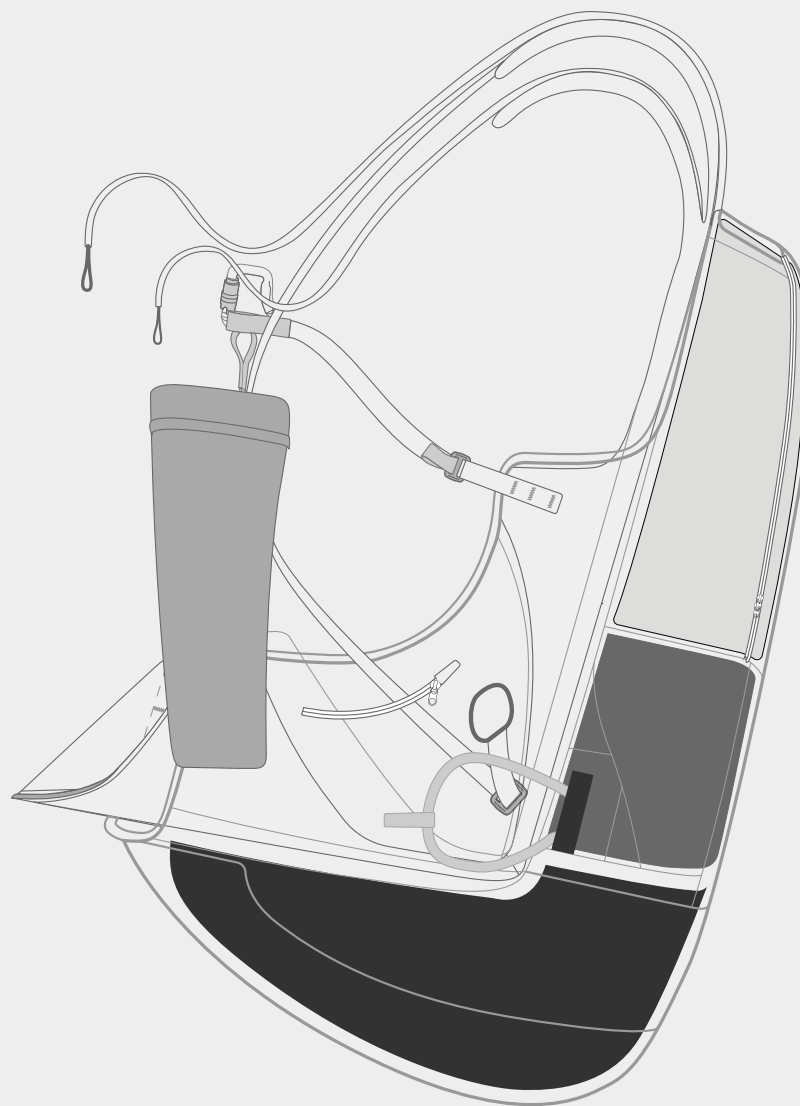
Safari pilot 3には、レスキューハンドルが付属しています。レスキューハンドルには、ハーネスにあるレスキューコンテナを閉じるためのパラコードプラスチックロッドが1本付属しています。テイクオフする前に必ずパラコードループを確認し、テイクオフ前にレスキューコンテナが閉じていることを確認してください。



フライトの前に

販売店がハーネスの完全性と基本設定をチェックしていることを確認してください。ハーネスの組み立ては、インストラクターなど、適切な資格を持ったパラグライダーの専門家が行ってください。

ジグライダーズでは、以下の順序で組み立てを行うことを推奨しています。この手順に少しでも疑問がある場合は、インストラクター、ジグディーラーまたは輸入代理店に専門的なアドバイスをお求めください。



バックプロテクターの装着

Safari pilot 3にバックプロテクターを取り付けるには、まずシートの下ジッパーコンパートメントを開きます。バックプロテクターの狭い側を最初に挿入します。バックプロテクターを正しい位置に導き、狭い上部部分がバックサポートとレスキューコンテナの間に適切に収まるようにします。バックプロテクターはコンテナにぴったり収まるはずですが、プロテクターが正しく取り付けられていることを確認したら、プロテクターコンパートメントのジッパーを閉じます。

- ❗ **警告:**バックプロテクションは、衝突によって負傷する可能性を排除するものではありません。
- ❗ **警告:**バックプロテクターのジッパーが完全に閉じていない場合、プロテクターは効果的に機能しません。



プロテクション | Aerobean

エアロビーンバックプロテクションの利点は、他の技術に比べて安全性が優れていることです。

また、従来のフォームプロテクターに比べてパッキング容積が小さく、ハーネスが軽量です。エアロビーンプロテクターは、従来のフォームプロテクターと同じテスト結果を維持しながら、より薄い厚さを実現しています。テイクオフ時には、ハーネスは完全な保護システムを提供します。これは、このプロテクターの最も優れた機能の1つです。事故が発生した場合、バックプロテクションは衝撃力を分散させるのに役立ちます。ただし、バックプロテクションはパイロットの負傷のリスクを完全に排除することはできません。

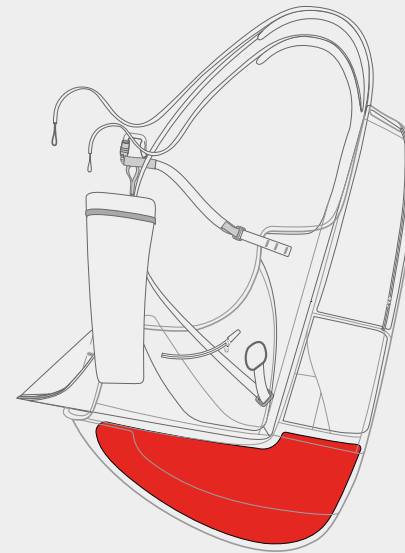
バックプロテクターのメンテナンス

バックプロテクターを定期的に点検し、衝撃吸収材を収めているジッパーが閉じていること、外側の生地が良好な状態であることを確認することをお勧めします。バックプロテクターに損傷の兆候がある場合は、フライトしないことをお勧めします。

警告:バックプロテクションは、衝突によって負傷する可能性を排除するものではありません。

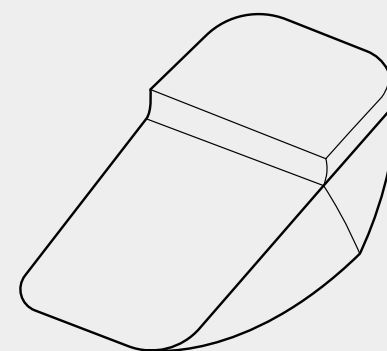
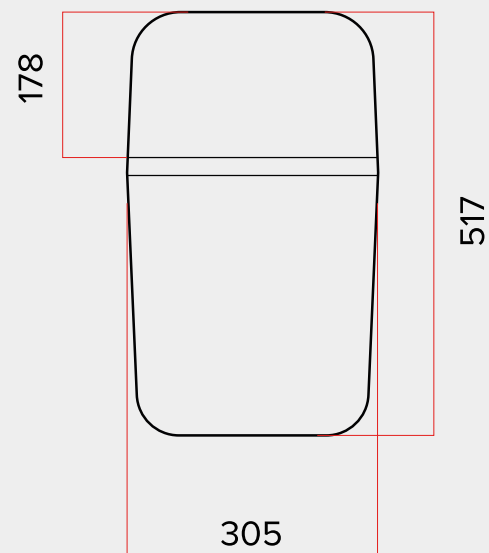
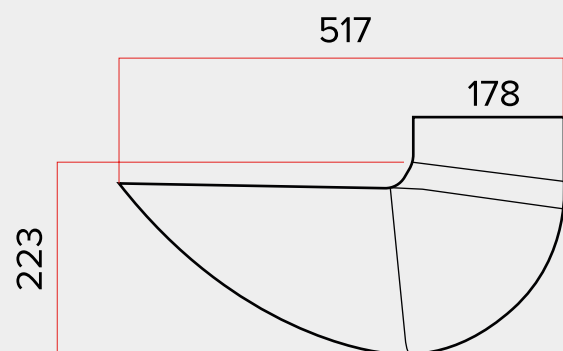
警告:ハーネスが摂氏70°Cを超える温度にさらされた場合、バックプロテクションの完全性が損なわれる可能性があります。

警告:強い衝撃を受けた後は、バックプロテクターの外部または内部に損傷がないか専門家に点検してもらってください。損傷があると、バックプロテクターの有効性が低下する可能性があります。



プロテクターサイズ

エアロビーンプロテクターのサイズと寸法。



レスキューの装着

レスキューの装着と互換性チェック

ジングライダーズでは、レスキューパラシュートの取り付けは、資格を持った人が適切に行うことを推奨しています。レスキューパラシュートはパイロットの最後の手段であり、パッキングや接続を正しく行わないと、死亡事故や大怪我を引き起こす可能性があります。パイロットは正しい取り付けを確実に行う責任があります。

このハーネスは、Yeti rescue50/60レスキューパラシュートと互換性があります。他のメーカーのレスキューも使用できますが、その機能については保証できません。パイロットは互換性を確認する責任があります。

レスキューパラシュートをハーネスに初めて取り付ける場合（つまり、ハーネスとレスキューシステムの新しい組み合わせの場合）には、必ずパラグライダーの資格を持った専門家による適合性のチェックが必要です。取り付けを確認するには、シミュレーターに座って開傘テストを行う必要があります。

レスキューパラシュートは少なくとも150日ごとにリパックする必要があります。レスキューパラシュートをリパックした後は、互換性チェックも行ってください。



レスキューパラシュートの互換性

レスキューパラシュートがレスキューコンテナから解放できることを確認してください—これは、シミュレーターからぶら下がっているハーネスに座っているパイロットであるあなたが行う必要があります。

レスキューパラシュートの開傘

レスキューパラシュートを開傘するには、ハンドルの位置を確認し、ハンドルをしっかりと握り、ハンドルをパイロットの方に引いてハーネスから少し離し、ハーネスコンパートメントからインナーコンテナを引き出します。レスキューパラシュートをコンパートメントから引き抜くと同じ動作で、レスキューをハンドルでスイングさせながら、クリアな空域（ライン、グライダー、ハーネスから）を探します。

ハンドルを放し、レスキューラインを伸ばしながらハンドルとレスキューを投げます。レスキューパラシュートのラインが伸びたら、レスキューがインナーコンテナから放出されて膨らみ始めるはずですが。

ネガティブスピンでは、パイロットとグライダーの沈下速度はスパイラルの状況よりも小さくなります。したがって、できるだけ大きな力でレスキューをパイロットから離し、素早くラインを伸ばしてレスキューがパラグライダーに絡まないようにすることが非常に重要です。

レスキュー展開の詳細については、レスキューマニュアルを参照してください。



⚠ 警告:レスキューパラシュートの取り付けに関して疑問がある場合は、専門家のアドバイスを求めてください。

⚠ 重要:インストールを確認するには、シミュレーターから開傘テストを行う必要があります。

レスキューコンテナをハーネスの開傘ハンドルに取り付ける

ハーネスには、専用インナーコンテナと専用の開傘ハンドルが付属しており、必ず使用する必要があります。この開傘ハンドルのストラップをインナーコンテナに接続する必要があります。特に、開傘ハンドルとインナーコンテナに接続するストラップの長さを確認してください。ストラップがインナーコンテナにテンションを与える前にピンが抜けないという危険なしに、インナーコンテナを取り出すことができる十分な長さである必要があります。開傘に必要な動作が大きくなってしまような長さがあってはなりません。



- ❶ **重要:**Safari pilot 3には付属のインナーコンテナのみを使用してください。他のインナーコンテナを使用すると、開傘できない場合があります。

インナーバッグ



開傘ハンドルの取り付け。



開傘ハンドルを中央のループに通します。



開傘ハンドル自体に通します。



引っ張って結び目を作ります。

レスキューブライダルの装着

ハーネスにレスキューパラシュートを接続するには、ジンレスキューカラビナを使用することをお勧めします。他のタイプのコネクターを使用する場合は、最大重量の20倍以上の定格荷重が必要です。例えば、弊社推奨のマイヨン6mmステンレススチールスクリューゲート(角型)コネクターの破断荷重は28kN以上です。レスキューシステムの適合性を確認し、正しく取り付けられていることを確認するのはパイロットの責任です。

通常のメンテナンスと安全点検の際には、必ずコネクターを点検してください。磨耗の兆候があればいつでも交換し、展開後は専門家にレスキューシステムを点検してもらってください。余分な摩擦を防ぐため、ラピッドカバーで接続部を覆うことをお勧めします。また、ゴムバンドを使用して接続部を固定し、余分な摩擦を防止してください。

ジン推奨:マイロン(レスキューリング) 6mmステンレス製スクリューゲート

6MM SQUARE MAILLON
破断荷重: >28KN

マイロン(レスキューリング)の接続(ジングライダーズ推奨)



ショルダーアタッチメントポイント

Safari pilot 3には、レスキューアタッチメントポイント自体がありません。ただし、ブライダルを保護し、レスキューブライダルが他のパーツに引っかかるのを防ぐルーティングシステムが付属しています。

レスキューは、選択したスプレッダーにマイヨンを介して接続する必要があります。

ジングライダーズでは、スプレッダーバー / ソフトスプレッダー / 軽量スプレッダーの3種類のスプレッダーシステムを提供しています。

- !** 警告:レスキューブライダルを接続するときは、必ずテープ、輪ゴム、または熱収縮ラップを使用して接続を固定してください。ラインがしっかりと固定されていない場合、過度の摩擦によりラインが焼けたり切れたりする可能性があります。
- !** 重要: 必ず両方のレスキューブライダルをレスキューに接続してください。

レスキューブライダルの接続



レスキューライザーにレスキューブライダルを接続します。



レスキューブライダルをジッパーブライダルトンネルに通し、ジッパーを最後まで閉じます。



ジッパーが開かないように端のベルクロを閉じます。



レスキュー ブライダルをスプレッダーのマイロン(レスキューリング)に接続して閉じます。



スプレッダーバーのベルクロパネルを閉じます。



レスキューの装着



レスキュー用ブライダルが接続され、レスキューハンドルがレスキューパラシュートに接続されたら、レスキューコンテナを開きます。



レスキューコンテナにレスキューを上向きに挿入します。



レスキューコンテナのメインフラップを閉じます。



ジッパーをある程度閉じます。



レスキューループの摩擦を避けるためにプラスチック製のパラコードを挿入します。



2番目のフラップからパラコードをアイレットに通します。

レスキューの装着

1



レスキューハンドルのパラコードをレスキューループに通します。

8



レスキューハンドルのサイドウェビングを布カバーに合わせます。

9



レスキュートンネルのジッパーを最後まで閉じます。

10



上部のベルクロを閉じます。

11



マジックテープの側面がきちんと閉じていることを確認してください。

ストレージ

バックポケット(1)

バックポケットは、フライト中にパイロットのリュックサックやその他の軽量アクセサリを収納できるように設計されています。30Lの容量とコンプレッションコードを備えています。ハーネスのインフレーションを確実にするために、フライト前にコンプレッションコードを引っ張っておく必要があります。

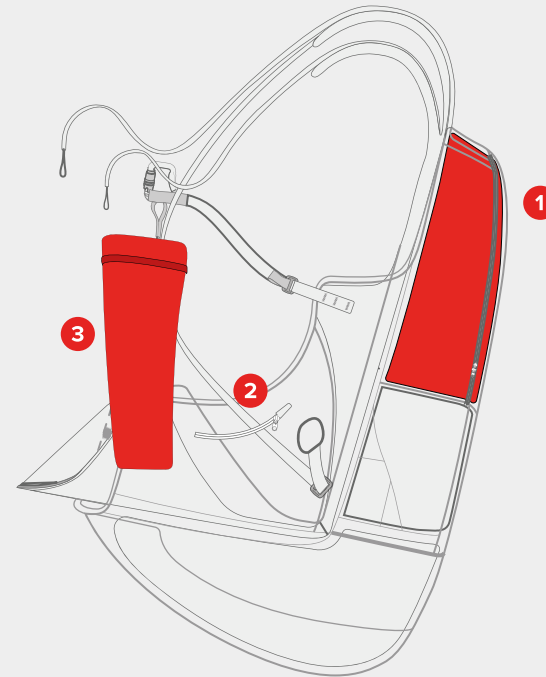


サイドポケット(2)

サイドポケットは、携帯電話やスナック、その他の小さな持ち物を入れることができる小さなポケットです。どちらもフライト中に簡単にアクセスでき、フライト中にアイテムを紛失しないようにジッパーが付いています。ハーネスには、ハーネスの両側に1つずつ、合計2つのサイドポケットがあります。

ゴープロポケット(3)

取り外し可能なゴープロポケットは、簡単なベルクロシステムでハーネスの両側に取り付けることができます。このポケットには留め具がないため、飛行中に落下する可能性のあるアイテムを保管することはお勧めしません。ゴープロポケットには、カメラやその他の持ち物を取り付けるためのループが付いています。



注記: 調整を行う前に、レスキューシステムが装着されていることを確認してください。

調整

体格やフライトスタイルに合わせてハーネスを調整します。テイクオフ後に座る姿勢に簡単に移行できるように、ハーネスを正しく調整することが重要です。ハーネスの調整が不十分だと、パラグライダーのフライト特性に悪影響を与える可能性があります。

最初のフライトの前にシミュレーターで吊るして調整を行い、最初の数回のフライト中に必要に応じて設定を微調整します。

ショルダーストラップ (1)

Safari pilot 3では、ショルダーストラップはパイロットの腰で調整する必要があります。ショルダーストラップの最適な設定は、パイロットの身長によって異なります。ハーネスを装着し、胸ストラップを閉じた状態で直立し、ショルダーストラップがぴったりフィットするがきつくない程度まで対称的に調整します。

締めるには: 黒の点線ループを前方に引っ張ります。

緩めるには: ショルダーストラップの上部にある赤いループを前方に引っ張ります。

ランバーストラップ (2)

ブレストストラップの下には、ランバーストラップを調整するためのバックルがあります。シート全体で背中を完全に支えるためには、背中中の圧力が均等に分散されるまでストラップを締めます。

ブレストストラップ (3)

ショルダーストラップを調整した後、ブレストストラップを快適な位置に置き、ショルダーストラップに軽い圧力がかかるように締めます。



Safari pilot 3でフライトする

一般的な警告とアドバイス

毎回、フライト前に必ず以下の点を確認してください。

- ◎ 心身ともに健康ですか？
- ◎ 地域で適用されるすべての法律と規制に精通し、順守していますか？
- ◎ パラグライダーの認定重量範囲内ですか？
- ◎ 必要で有効な保険(賠償責任、医療、生命など)に加入していますか。
- ◎ エリア、エアスペース、当日の予想される天候について十分なブリーフィングを受けていますか？
- ◎ あなたの装備とエリア選択は、あなたの経験レベルに適していますか？
- ◎ 適切なヘルメット、グローブ、ブーツ、アイウェア、適切な衣服を着用していますか？
- ◎ 身分証明書を携帯し、万が一の事故の際にあなたが誰なのかがわかるようにしていますか？ 可能であれば、無線機や携帯電話も携帯しましょう。
- ◎ 新しい機材の安全な使用方法を完全に理解していますか？ そうでない場合は、インストラクターまたは販売店に不明な点を説明してもらいましょう。

新しいハーネスで初フライトをする際は、不慣れなことが起きないように日と場所を選ぶようにしてください。初フライトでは、新しいハーネスのフライト中の特性に慣れてください。

プレフライトチェック

通常のプレフライトチェックの一環として点検を行ってください：

- ◎ ハーネスやカラビナに耐空性に影響するような損傷はありませんか？
- ◎ レスキューパラシュートのコンテナは、ピンが正しい位置にあり、正しく閉じていますか？
- ◎ 開傘ハンドルは正しく挿入または取り付けられていますか？
- ◎ バックル、ベルト、ジッパーはすべてしっかりと締められていますか？ バックルを閉じると、カチッと音がして所定の位置に収まります。留められたバックルを軽く引くと、これが確認されます。バックルを締めた後、ジッパーをしっかりと締めてください。雪や砂の多い環境では特に注意してください。
- ◎ パラグライダーがハーネスに正しく接続され、両方のカラビナがロック機構で固定されていますか？
- ◎ スピードバーはグライダーに正しく取り付けられていますか？
- ◎ 全てのポケットはきちんと閉められ、緩んだアイテムは安全に固定されていますか？
- ◎ エアチャンバーのインタークは開いてクリアーですか？
- ◎ レッグストラップとチェストストラップは閉じましたか？ テイクオフ前に再確認してください。



重要:プレフライトチェックは、完全で一貫性のあるルーティンで、毎フライト同じ順序で繰り返してください。

重要:Safari pilot 3の最大積載重量は 120kg です。この重量を超える重量で飛行することはお勧めしません。

レスキューパラシュートの開傘

緊急事態が発生した場合、自分の高度と事象の深刻さを迅速に判断する必要があります。高さが不十分な場合、レスキューパラシュート開傘をためらう一瞬の躊躇が致命傷となる可能性があります。一方で、グライダーが回復可能な場合にレスキューパラシュートを開傘すると、不必要な負傷を招く可能性もあります。

レスキューを展開することにした場合:

- 1) レスキューハンドルを探し、片手でしっかりとつかむ。
- 2) ハンドルを前方上方に引いて、レスキューパラシュートコンテナからインナーコンテナを外します。
- 3) 障害物のない場所を探し、連続した動きで、レスキューパラシュートを自分とグライダーから離れた方向に投げます（そして放します）。できれば気流の中または回転方向と反対の方向に投げます。開傘後は、B、C、D またはブレークラインを使用してグライダーをできるだけ対称的に素早く引き込み、絡まりや振り子運動を回避します。
- 4) 設置時には直立姿勢をとり、怪我のリスクを最小限に抑えるために PLF（パラシュート着陸落下）を行う準備をしてください。



i 重要: 緊急時にレスキューハンドルに手を伸ばす動作が本能的にできるように、通常のフライトでは、定期的にレスキューハンドルの位置を確認してください。

! 警告: フライト中のいかなるアクシデントにおいても、常に高度をモニターしてください。回復に十分な高度があるかどうか疑わしい場合は、ためらうことなくリザーブを展開してください。「疑わしければ、出せ！」です。

注意: レスキューを開傘した後は、レスキューコネクションポイント、レスキューブライダル、その他の部品に損傷がないことを確認するため、資格を持った専門家にハーネスを徹底的に点検してもらうことが重要です。



トーイング

Safari pilot 3はトーイングランチに使用できません。



タンデムフライト

Safari pilot 3は、パイロットハーネスとしてタンデムフライト用に設計されています。常にスプレッダーを介してパッセンジャーハーネスに取り付ける必要があります。



水の上を飛ぶ

バックプロテクターにより、パイロットが頭を下げた姿勢で浮くリスクが高まるため、着水は絶対に避けるべきです。水上でのセーフティレーニングには、無意識の状態でも頭部を水面上に保持するヘッドサポート付きの適切なフローテーションベストの着用をお勧めします。

メンテナンスと修理

このハーネスに使用されている素材は、最大限の耐久性を得るために厳選されたものです。ハーネスをできるだけ長く安全にお使いいただくために、ハーネスは常に清潔に保ち、通気性を良くしてください。

ケアとメンテナンス

荒れた地面や岩場でハーネスを引きずらないでください。紫外線、高温多湿な場所での使用は避けてください。

折りたたんだハーネスは、使用しない時はリュックサックに収納してください。

機材はすべて涼しく乾燥した場所に保管し、湿ったままや濡れたまま保管しないでください。定期的にプラスチック製のブラシや湿らせた布で汚れを落としてください。ハーネスが著しく汚れた場合は、水洗いしてください。

レスキューパラシュートなどのサブコンポーネントをすべて取り外してください。ハーネスは直射日光の当たらない風通しの良い場所で自然乾燥させてください。レスキューパラシュートが濡れた場合(着水時など)、ハーネスからレスキューパラシュートを切り離し、乾燥させてからインナーコンテナに戻してください。

ハードランディングの後は、ハーネスとプロテクターに損傷がないかチェックし、レスキューコンテナに細心の注意を払い、すべてのアタッチメントがしっかりと固定されていることを確認してください。

軽微なダメージが生じた場合、Safari pilot 3のアウトターシェル専用のリペアシートを注文することができます。ご注文はお近くの販売店までお問い合わせください。

アウトターシェルに大きな損傷が生じた場合は、別途ご注文いただき、ベースに簡単に取り付けることができます。お近くの販売店にご注文ください。

検査チェックリスト

パイロットは、レスキューパラシュートをリパックするたびに以下の点検を行い、24ヶ月後または飛行時間200時間のどちらか早い方で専門家による点検を受ける必要があります。また、墜落、ランディングやテイクオフの失敗、損傷や過度の磨耗の兆候が見られた場合は、追加点検を行う必要があります。不明な点がある場合は、必ず専門家のアドバイスを受けてください。

重要: 修理は、メーカーまたは認定代理店のみが行ってください。そうすることで、正しい材料と修理技術を使用することができます。

重要: ハーネスのウェビングに何らかの損傷がある場合、決してフライトしては行けません。

次のチェックを実行する必要があります：

- ◎ すべてのウェビング、ストラップ、バックルに磨耗や損傷（縫い目の開き、破れ、切断など）がないか、特にカラビナのフックインポイントの内側など、目につきにくい部分をチェックしてください。
- ◎ 問題の悪化を避けるため、縫製はすべて無傷で、異常があれば直ちに対処しなければなりません。
- ◎ レスキューの取り付け、特に伸縮性のある部分とベルクロ部分には特別な注意を払う必要があります。
- ◎ メインカラビナは、少なくとも5年ごと、または500時間経過後のいずれか早い時点で交換する必要があります。衝撃により検出できない亀裂が生じ、継続的な負荷がかかった場合に構造的な故障につながる可能性があります。
- ◎ プロテクターを注意深く目視検査し、エアバッグに空気を充填して漏れがないか確認し、破れやフォームの回復を検査する必要があります。

修理

ハーネスの重要な部分に関わる修理は、メーカーまたはジン正規ディーラーが行う必要があります。これにより、正しい材料と修理技術が使用されることが保証されます。アウターシェル小さな破れを補修するために、専用のリペアシートを注文することができます。

保管

温度10度～25度、相対湿度50～75%で保管してください。ネズミや猫などの動物が寝床にするような場所にハーネスを保管しないようにしてください。

ハーネスを化学薬品（水を含む）の近くで保管しないでください。例えばガソリンはハーネスの素材を分解し、ハーネスに大きな損傷を与えます。ハーネスを車のトランクに入れる際は、予備のガソリン缶やオイル容器からできるだけ離してください。

ハーネスは極端な高温にさらさないでください。高温は加水分解を促進し、特に湿気と合わさった場合、繊維やコーティングにダメージを与えます。ハーネスはラジエーターなどの熱源の近くに保管しないでください。

コークンがうまく膨らまない場合は、インテークが塞がれている可能性があるため、バックポケットに入れるものを減らしてください。



ジン品質とサービス

弊社は製品の品質に誇りを持ち、製造上の欠陥に起因する、お客様の機材の安全性や機能に影響を与えるいかなる問題も是正することをお約束します。お客様の機材に問題が生じた場合、ジン販売店が最初の連絡先となります。販売店またはジンインポーターに連絡できない場合は、ジングライダーズのウェブサイトから直接お問い合わせください。

ジン生涯保証

ジングライダーは、すべての製品の品質、クラフトマンシップ、パフォーマンスを保証することに誇りを持っています。材料または製造に欠陥がある機材は、製品の実際の耐用年数の間、ジングライダーの裁量により修理または交換されます。消耗、誤用、または不注意により破損した機器については、有償で修理できる場合があります。

機材に問題がある場合は、まずお近くのジン販売店、またはジングライダーズのウェブサイトから直接お問い合わせください。

環境への配慮

私たちは、傑出した自然の美しさを誇る地域で飛行できる特権を与えられています。環境に与える影響を最小限に抑えることで、自然を尊重し保護しましょう。その地域を訪れる際には、環境的に敏感な地域や地域の制限の詳細について、地元のクラブにお問い合わせください。

ジングライダーズはハーネスのライフサイクル全体に配慮しており、その最終段階は環境に優しい方法でリサイクルすることです。ハーネスに使用されている合成素材は適切に廃棄されなければなりません。ハーネスを廃棄する場合は、地域の自治体の指示に従って処分してください。

製品登録

製品を登録すると、安全に関する重要な最新情報を受け取ることができます。

www.gingliders.com/register



最後に...

今日、私たちの多くは規制され、保護される依存社会に生きています。パラグライダーなどのエクストリームスポーツでは安全が基礎ですが、社会の中で個人が自己責任能力を養う機会はほとんどありません。

ほとんどの事故は、自分の経験レベルに対して厳しすぎる状況に陥ることによって引き起こされます。これは、基本的な理解が不足していたり、リスクを評価する能力がなかったり、単に周囲の状況や自分自身の精神状態に十分注意を払っていなかったりする場合に起こります。

安全を保つためにできる最善のことは、自分が安全に管理できる速度で理解、技術、経験を高めることです。自己責任と適切な判断に代わるものではありません。

結局のところ、パラグライダーは自分の運命を自分でコントロールすることを学ぶまたとない機会を提供してくれるのです。Memento mori, carpe diem!(ラテン語で「自分がいつか必ず死ぬことを忘れるな」の意味)



GIN

安全に飛んで、そして...楽しもう!

ジンチーム

テクニカルデータ

サイズ	ワンサイズ
カラビナ間の距離 (cm)	44

認証

Safari pilot 3はENとLTFの認証を受けています。
 最大荷重120daN
 認証番号:PH_444.2024 | CE認証

パラシュートコンテナ

シート下の一体型コンテナ

バックプロテクション

22cm エアロビーンプロテクター

マテリアル

ハーネス素材	
アウター	70 D Rosetta ripstop
インナー	Nylon HD 210
ウエビング	Nylon HD 210Nylon 20mm
	Polyester 30mm/25mm/20mm
糸	100% Polyester, P/F 210D/9 bonded, P/F 210D/4 bonded & P/F 210D/6 bonded

パイロットの詳細／所有権証明

1. オーナー

名前

住所

電話番号

Eメール

2. オーナー

名前

住所

電話番号

Eメール

3. オーナー

名前

住所

電話番号

Eメール

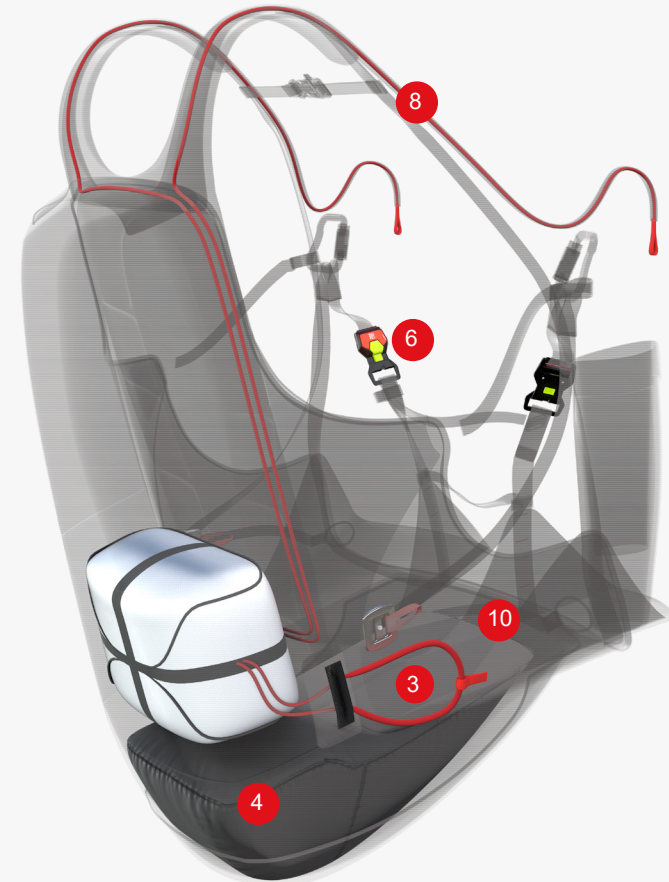
ハーネス詳細

サイズ	カラー	シリアル番号
チェックフライト(日付):		
マークとサイン:		

検査と修理の概要

日付	実施された作業	配送に関する一般条件	実施(名前)	スタンプ/サイン

ハーネス図



ハーネス図

- | | | | | | |
|---|---------------------------------------|----|-------------------------------|----|--------------------------|
| 1 | バックポケット | 8 | レスキューブライダル | 15 | 色分けされたレッグストラップ |
| 2 | レスキューコンテナ
容量11.000 cm ³ | 9 | ゴープロポケット
取り外し可能なネオプレン ポケット | 16 | チェストストラップ
バックルホイッスル付き |
| 3 | レスキューハンドル／インナー
バッグ | 10 | 調節可能なヒップストラップ | 17 | スプレッダーバー
別売 |
| 4 | Aerobean プロテクター
厚さ22 cm | 11 | 調節可能なランバーストラップ | | |
| 5 | スプリットレッグ形状 | 12 | 30mm カラビナ
ハーネスに付属 | | |
| 6 | エーデルリッド トリプルロック
バックル | 13 | ジッパー付きサイドポケット
左右サイド | | |
| 7 | フルカバーレスキュートンネル | 14 | 交換可能な保護用の素材 | | |



Gin Gliders

2318-32, Baegok-daero,
Mohyeon-myeon, Cheoin-Gu,
Yongin-city, Gyeonggi-Do,
17036 Korea

販売代理店

有限会社アエロタクトコーポレーション
〒125-0035 東京都葛飾区南水元2-26-11
Bell Wood bldg.201号室
TEL:03-6231-3440
FAX:03-6231-3441

www.gingliders.com